

# 【 第4回 U-22東アジア選手権 】

2016年7月3日～7月10日 中国・蘇州

## 試合結果報告 7 月 6 日 ( 水 )

| J P N | V S | K O R (韓国) |
|-------|-----|------------|
| 10    | 前半  | 22         |
| 12    | 後半  | 22         |
| 22    | 合計  | 44         |

### 個人得点

| 名前      | 前半 | 後半 | 第1延長 | 第2延長 | 合計 |
|---------|----|----|------|------|----|
| 榎 和 奏   |    |    |      |      | 0  |
| 金 山 桃 歌 |    |    |      |      | 0  |
| 林 玲 花   | 1  | 0  |      |      | 1  |
| 浜 真 尋   | 0  | 1  |      |      | 1  |
| 吉岡 紗 耶  | 1  | 2  |      |      | 3  |
| 行本 朱 里  | 1  | 0  |      |      | 1  |
| 並 木 梨 紗 | 3  | 3  |      |      | 6  |
| 中 村 風 夏 | 1  | 2  |      |      | 3  |
| 中 山 佳 穂 | 1  | 1  |      |      | 2  |
| 金城 ありさ  | 2  | 2  |      |      | 4  |
| 八 田 桃 子 | 0  | 1  |      |      | 1  |
|         |    |    |      |      | 0  |
|         |    |    |      |      | 0  |
|         |    |    |      |      | 0  |
|         |    |    |      |      | 0  |
|         |    |    |      |      | 0  |
|         |    |    |      |      | 0  |
|         |    |    |      |      | 0  |
| 合計      | 10 | 12 | 0    | 0    | 22 |

### 戦評

2戦目は韓国と対戦。日本はディフェンスからのスタート。立ち上がりから韓国に2連取されるが、日本も№14中山のサイド、№15金城の7MTで2-2とする。その後、日本はセットオフェンスからのミスが目立ち、逆速攻で立て続けに失点し、4-12となったところで日本がタイムアウト。オフェンスのコンビネーションを確認し立て直しを図るが、流れを引き戻すことができないまま10-22で前半終了。後半開始早々、日本はセットオフェンスから№15金城のロングシュートが決まるが、韓国のスピードに乗った1対1に日本のディフェンスが機能せず連続失点をしてしまう。その後も相手のスピードある速攻・強い1対1で失点し、なかなか点差を詰めることができない。日本も最後まで諦めず、№8並木のポストシュート、№5吉岡の速攻で追い上げを見せたが、22-44で試合終了となった。次戦の台北戦が今大会最終戦となる。テーマである高いディフェンスの連携とセットオフェンスでのコンビネーションを確認し、最終戦チーム一丸となって勝利を目指す。

報告記入者：

辻 賀奈子